

平成 30（2018）年度 事業計画書

自 平成 30（2018）年 4月 1日
至 平成 31（2019）年 3月 31日

公益財団法人 九州盲導犬協会

平成 30 年度 事業計画書
(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

1. 盲導犬育成事業

(1) 視覚障がい者に対する盲導犬貸与と歩行指導

今年度の盲導犬育成目標を 6～8 頭とし視覚障がい者へ貸与する。

(2) 盲導犬使用者（以下、ユーザーという。）に対するフォローアップ（F U）

貸与直後 F U ・ 定期 F U ・ 問題 F U 等により、ユーザーの歩行の安全確保のため、適切なフォローアップを行いユーザーの生活をサポートする。

(3) 犬の飼育および訓練

①繁殖

計画的な繁殖・出産により子犬を確保（目標 30 頭）する。また AGBN（Asia Guide Dogs Breeding Network）加盟協会との繁殖協力の維持と発展に努める。

②パピーウォーキング

飼育講習会及び巡回指導等を通して、子犬の健康管理とパピーウォーカーに対する飼育指導を実施する。

③候補犬の訓練

犬の稟性評価・健康評価を適正に行い、候補犬の訓練を実施する。

④盲導犬の健康管理

フォローアップなどを通して盲導犬の健康状態の把握に努め、ユーザーが安心して盲導犬を使用できるよう健康管理の指導ならびに助言を行う。

⑤繁殖犬・リタイア犬等のケア

飼育ボランティアおよび獣医師と連携しながら、それぞれの犬の健康管理に努める。

⑥犬舎管理

犬舎担当職員・訓練士が連携して、犬舎の衛生管理および訓練犬の健康管理を行う。

(4) 盲導犬歩行指導員等の育成

①全国盲導犬施設連合会の実施する盲導犬歩行指導員等資格認定に歩行指導員 1 名、訓練士 1 名の受験に推薦できるよう指導育成する。

②知識・技術の向上を目的に、盲導犬ジャパンセミナー及び各種研修会に職員を派遣するとともに、自己研鑽を奨励する。

2. 普及啓発事業

視覚障がいと盲導犬について、多くの市民に正しい理解を得ることを目的とした普及啓発活動を推進する。

(1) 総合訓練センターにおける啓発活動

- ①一般見学会を毎月1回行う（12月は除く）ほか団体見学を積極的に受け入れ、一般社会に対して盲導犬および補助犬法について正しい情報・知識を提供する。
- ②短期間の盲導犬宿泊体験希望者を募集し、盲導犬の普及啓発に努める。

(2) 盲導犬普及啓発街頭活動

RKB ラジオまつり・糸島市民まつり、各地区の国際ライオンズクラブ及び地域の団体等が主催する普及啓発イベントや募金活動に積極的に参加して、補助犬の受入れに対する理解を深める。

(3) 講演・実演・体験歩行会の実施

行政及びボランティアの協力を得て、小中学校における盲導犬総合学習に講師を派遣して、講演・実演・体験歩行会等を実施、盲導犬と視覚障がいについて、正しい情報・知識を提供する。

(4) 広報活動

ホームページや協会報（ハーネス九州：年2回発行）等を通して補助犬に関する情報を発信する。

3. 関係団体協力事業

(1) 九州盲導犬友の会ユーザーとの協力及び連携を深め、協会事業の発展を図る。

(2) 全国盲導犬施設連合会、日本盲人社会福祉施設協議会、県市社会福祉協議会等関係団体と協力し、福祉事業としての一層の発展充実をはかる。

4. その他

(1) 相談業務

行政・関連団体と連携を取りながら、盲導犬使用者・ボランティア・一般市民からの相談や苦情に迅速に対応する。

(2) 財政基盤の安定

- ①賛助会員への新規加入の働きかけを行うとともに、会員・寄附支援者に協会報等を通して協会事業の理解と継続的支援をお願いする。
- ②盲導犬募金箱の新規設置先の開拓を行うとともに、既設置先へ継続的な支援をお願いする。